

平成30年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **350** 名
申込先着順

会場 ドーンセンター

(大阪府立男女共同参画・青少年センター7Fホール)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-49
Tel.06-6910-8500

平成30年

日時 **10/5** (金) **13:00~16:50**

13:00~13:10

開会の辞

一般社団法人 日本橋梁建設協会
副会長 田中 進

第1部:技術発表会

13:10~13:50

1. 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

設計小委員会 設計部会 堀井 滋則

13:50~14:30

2. 鋼橋の溶接継手の研究

～裏波を有する片面突合せ溶接継手の疲労強度～

製作小委員会 製作部会 萩原 篤

14:30~14:40

休憩

14:40~15:20

3. 動き出した鋼橋の大規模更新

～床版取替え工事における

床版形式の選定から維持管理まで～

床版小委員会 床版施工部会 出口 哲義

15:20~15:35

協会活動報告

安全委員会

15:35~15:45

休憩

第2部:特別講演会

15:45~16:45

「関西のインフラの現状と将来」

近畿地方整備局 企画部長
森戸 義貴



16:45~16:50

閉会の辞

橋梁技術発表会 実行委員会
委員長 上原 正

申込方法

ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付け」まで
(受付は平成30年8月24日(金)~9月21日(金))

申込期限

平成30年9月21日(金)

連絡先

一般社団法人 日本橋梁建設協会 近畿事務所
〒550-0005 大阪市西区西本町1-8-2 三晃ビル5階
Tel. 06-6533-3238

継続教育

CPDS認定予定

他地区

中部地区は 10月12日(金) 東建ホール
九州地区は 10月26日(金) レソラNTT夢天神ホール
北海道地区は 11月 2日(金) 北海道経済センター
東北地区は 11月16日(金) 仙台国際センター
東京地区は 11月21日(水) 銀座プロッサム

にて開催です。

(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿(論文)及び発表PPTは、当日配布をしておりません。ホームページに掲載しますので、必要に応じて各自ダウンロードして持参して下さい。

アクセス



- 京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を通じて1番出口より東へ約350m。
- 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m。
- JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m。

1 「合成桁の設計例と解説」の改訂について

～こんなに変わった合成桁の設計～

「合成桁の設計例と解説」は、鋼橋設計の入門書として多くの方々にご利用頂いておりますが、この度、H29年の道路橋示方書改定に合わせて13年ぶりに改訂いたしました。今回の道示改定では、設計供用期間として100年を標準とすることが定められ、設計手法も従前の許容応力度設計法から部分係数設計法へと大きく変わりました。また、設計に求められる要求性能も耐荷性能、耐久性能、その他性能に大別され、耐荷性能の照査については、最大断面力を二つの限界状態で照査するなど、今までになかった全く新しい概念が導入されています。これらに準拠した改訂版のポイントや留意点について執筆者が分かり易く解説します。

2 鋼橋の溶接継手の研究

～裏波を有する片面突合せ溶接継手の疲労強度～

鋼床版デッキプレートなどの現場突合せ溶接継手では、裏当て材を用いて裏波を形成する片面溶接法が用いられることが多い。両面突合せ溶接継手については数多くの疲労試験データがあり、それらに基づいて、日本鋼構造協会の「鋼構造物の疲労設計指針・同解説」では疲労強度等級をD等級としている。裏波を有する片面突合せ溶接継手に対しては、両面突合せ溶接継手の疲労試験結果から類推して、裏波形状が良好な場合には強度等級をD等級としているが、裏波を有する片面突合せ溶接継手の疲労試験データは少なく、また良好な裏波形状の定義もなされていない。なお、道路橋示方書・同解説においても良好な裏波形状を有する片面突合せ溶接継手の疲労強度等級はD等級である。

本発表では、裏波を有する片面突合せ溶接継手の疲労強度と良好な裏波形状の定義を明らかにすることを目的として、様々な溶接形状の裏波を有する片面突合せ溶接継手の試験体を製作し、軸方向荷重と板曲げ荷重下で疲労試験を行った結果や、応力解析を行うことにより良好な裏波形状について検討した結果について発表します。

3 動き出した鋼橋の大規模更新

～床版取替え工事における床版形式の選定から維持管理まで～

鋼道路橋の鉄筋コンクリート床版(以下RC床版)は、開通から30年以上経過したものも多く、当時の設計基準により設計・施工されているものは、現在の基準に適合するように補強を行いながら供用している。また、塩害・凍害等の材料劣化や車両荷重・交通量の増大により、複合的に劣化が促進される場合があり、進行すれば陥没等の大きな損傷が発生する。このため、多くの路線で更新工事が立案・実施されている。

RC床版の取替え工事は、架橋地点の施工環境や橋梁の構造形式により様々な制約条件があり、それぞれの条件に応じて施工幅員や取替え床版の形式を選定する必要がある。また、限られた時間の中で行うことが多く、必要な工種を把握し、入念な施工計画を立案する必要がある。このため、橋建協ではRC床版の取替え施工を行う際に利用できる「床版取替え施工の手引き」を発刊した。発表会では、手引きに沿って床版取替えの概説を分かり易く発表します。

特別講演会 講演者紹介

「関西のインフラの現状と将来」

森戸 義貴

近畿地方整備局 企画部長

一略歴一

2005年 4月 関東地方整備局 相武国道事務所長
2007年 4月 道路局 国道・防災課 企画専門官
2010年 4月 道路局 国道・防災課 技術企画官
2011年 1月 道路局 国道・防災課 国道事業調整官
2013年 4月 大臣官房 技術調査課 建設技術調整官
2015年 7月 和歌山県 県土整備部 技監
2016年 4月 和歌山県 県土整備部長
2018年 7月 現職

講演概要

関西では高規格幹線道路の開通により、物流に変化が出ています。

また、関西のインバウンドが飛躍的に上昇している中、関西が元気になってきています。

リピーターを増やす上でも、関西のインフラはこのままで良いのか?今後の北陸新幹線やリニア中央新幹線開業時を見据え、アクセス強化は必要ないのか?関西の歴史・文化を楽しんでもらうための周遊ルートは十分か?

など関西のインフラの現状と将来について紹介します。

平成30年度

10月5日(金)

橋梁技術発表会

[大阪地区]

参加申込方法



一般社団法人 日本橋梁建設協会
Japan Bridge Association Inc.

ホームページよりお申込み下さい。

http://www.jasbc.or.jp/

「技術発表会」
の申し込みはこちら。